

人体の構造と機能【看護形態機能論】

担当教員	菅村 聡子	所 属	専任教員
対象学年/開講時期	第2学年/後期	単位数(時間数)	1単位(20時間)
履修の目的 人体の構造や機能を生活機能や生活行動の視点で捉え、看護実践や臨床判断につながる基礎的能力を身につける。			
授業の形式 グループワークを中心とした演習(発表を含む)			
成績評価の基準等 出席状況、授業態度、演習や課題への取り組みより総合的に評価する。			

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所
①	看護 形態機能学 第4版	日本看護協会出版会

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回	1. ガイダンス	1) 学習の進め方 2) 何のための生活機能・生活行動か	①	
第2回	2. 日常生活行動を支えるからだの機能	1) 恒常性維持のための流通機構 2) 恒常性維持のための調節機構	①	
第3回	3. 日常生活行動を遂行するためのからだの機能	1) 息をする	①	
第4回		2) 動く	①	
第5回		3) 食べる	①	
第6回		4) トイレに行く	①	
第7回		5) 話す、聞く	①	
第8回		6) 眠る	①	
第9回		7) お風呂に入る 8) 子どもを生む	①	
第10回	4. まとめ	生活機能の視点で考える看護の役割	①	
修了試験				